

受 験 番 号					

氏 名	

2022年度
放送大学大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
社会経営科学プログラム
筆記試験問題

試験日：2021年10月2日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（3ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、社会経営科学プログラムは3枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

第1問と第2問の両方に解答しなさい。なお、第1問と第2問の解答にはそれぞれ別の解答用紙を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。

第1問 以下の文章を和訳しなさい。(1200字以内)

14. We are meeting at a time of immense challenges to sustainable development. Billions of our citizens continue to live in poverty and are denied a life of dignity. There are rising inequalities within and among countries. There are enormous disparities of opportunity, wealth and power. Gender inequality remains a key challenge. Unemployment, particularly youth unemployment, is a major concern. Global health threats, more frequent and intense natural disasters, spiralling conflict, violent extremism, terrorism and related humanitarian crises and forced displacement of people threaten to reverse much of the development progress made in recent decades. Natural resource depletion and adverse impacts of environmental degradation, including desertification, drought, land degradation, freshwater scarcity and loss of biodiversity, add to and exacerbate the list of challenges which humanity faces. Climate change is one of the greatest challenges of our time and its adverse impacts undermine the ability of all countries to achieve sustainable development. Increases in global temperature, sea level rise, ocean acidification and other climate change impacts are seriously affecting coastal areas and low-lying coastal countries, including many least developed countries and small island developing States. The survival of many societies, and of the biological support systems of the planet, is at risk.

15. It is also, however, a time of immense opportunity. Significant progress has been made in meeting many development challenges. Within the past generation, hundreds of millions of people have emerged from extreme poverty. Access to education has greatly increased for both boys and girls. The spread of information and communications technology and global interconnectedness has great potential to accelerate human progress, to bridge the digital divide and to develop knowledge societies, as does scientific and technological innovation across areas as diverse as medicine and energy.

16. Almost 15 years ago, the Millennium Development Goals were agreed. These provided an important framework for development and significant progress has been made in a number of areas. But the progress has been uneven, particularly in Africa, least developed countries, landlocked developing countries and small island developing States, and some of the Millennium Development Goals remain off-track, in particular those related to maternal, newborn and child health and to reproductive health. We recommit ourselves to the full realization of all the Millennium Development Goals, including the off-track Millennium Development Goals, in particular by providing focused and scaled-up assistance to least developed countries and other countries in special situations, in line with relevant support programmes. The new Agenda builds on the Millennium Development Goals and seeks to complete what they did not achieve, particularly in reaching the most vulnerable.

(出典 : United Nations, 2015, “Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development” (<https://sdgs.un.org/2030agenda>) : 5-6)

第2問 以下に列挙する(1)～(7)の分野のうち、研究指導を希望する分野を一つ選んで、その分野の問題に解答しなさい。なお、選択した問題の番号を解答用紙の「小問題番号等記入スペース」に明記すること。

(1) [政治学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。(800字以内)

①デモクラシーの原理について、緊急事態という観点から論じなさい。

②近代日本のナショナリズムの特徴について論じなさい。

(2) [法学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

①Aは甲家屋と乙家屋を残して死亡し、Aの相続人は妻Bと嫡出子たるCとDである。以下の問い(a)(b)について、法的根拠を示して論じなさい(合わせて800字以内)。なお、各設問は独立したものである。また、設問に記載されている民法は、令和2年4月1日より施行されている改正民法である。

(a) Aは「甲家屋をBに、乙家屋をCに相続させる」との遺言を残して死亡した。このようなAの「相続させる」とする遺言の法的性質について説明したうえで、遺言から除外されたDによるB、Cらの家屋所有権を争う主張に対し、B、Cは、かかるAの遺言により、遺産分割協議を経ずして、それぞれ各家屋の所有権を主張することができるか。

(b) B、C、Dの間で、甲家屋はBが、乙家屋はCが取得する旨の遺産分割協議が成立した。その際、Bの扶養はCが自ら行う旨の約束があった。ところが、その後CがBを自ら扶養せず、直ちに老人ホームに入所させたため、Dは民法541条または542条による遺産分割の解除を求めたが、認められるか。また、B、C、Dは、遺産分割協議を合意解除することができるか。

②地理的表示は、商標法(地域団体商標制度)と「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律」(いわゆる、地理的表示法)によって保護されている。例えば神戸ビーフは、それら二つの法律により登録され保護されている。地理的表示が二つの法律でどのように保護されているかを比較対照して説明しなさい。(800字以内)

(3) [国際関係分野]

冷戦(The Cold War)とは何か、その定義に留意しながら説明しなさい。(800字以内)

(4) [環境分野]

以下に示す事柄について、①については200字以内で、②から⑤についてはそれぞれ150字以内で概要を説明しなさい。

- ①FIT
- ②トリチウム
- ③生物多様性
- ④バイオプラスチック
- ⑤食品ロス

(5) [経済学分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

- ①公共財の定義を述べなさい。そのうえで、新型コロナウイルス感染症への対策として休業要請に応えた店舗に給付金を配る場合、それを公共サービスに対する財政出動と理解するならば、どんな論拠がありうるのか説明しなさい。(合わせて800字以内)
- ②経済格差が所得の不平等として現れる場合、どのような方法でその格差を計測するのか、あるいは認識するのか、その方法を示しなさい。そのうえで、なぜ現代日本において所得格差が存在し増減するのかについて2つ以上の考え方を指摘し説明しなさい。(合わせて800字以内)

(6) [社会・コミュニティ分野]

次の①、②から一つ選び、解答しなさい。

- ①日本社会における地域住民組織の一種に町内会(地域によっては町会、自治会、部落会などとも呼ばれる)がある。その一般的な特徴を二つ挙げなさい。また、近年ではさまざまな地域において町内会の活動の停滞(あるいは衰退)が懸念されているが、その要因あるいは背景について論じなさい。(全体で800字以内)

- ②次に挙げる社会学用語(a)～(d)についてそれぞれ説明しなさい。(全体で800字以内)

- (a) 業績主義的地位
- (b) 役割群
- (c) 小家族化
- (d) ゾーン理論(同心円地帯理論)

(7) [経営学分野]

次の①～③から一つ選び、解答しなさい。(800字以内)

- ①社外取締役の実績を評価する際に最も重要と考える基準を三点挙げなさい。
- ②ESG投資のS(social)にあたる事柄は、企業経営においてどのような重要性があるか論じなさい。
- ③製品特性とサプライチェーンとの適合関係について論じなさい。

以上